



液晶テレビ用ラビングクロス

織物製造業。当社の「ベルベット繊維製造の技術」を活用、従来のベルベット織機を改造することにより、液晶テレビ用の大きなマザーガラスをラビングすることができる、ラビングクロス

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

液晶テレビのガラス画面はラビング(こする)処理が行われている。液晶ガラスラビング処理は、ラビングクロスと呼ばれるローラーに巻きつけた布を、液晶マザーガラスにラビングすることで、液晶分子をラビング方向へ向かせている。自社の本業のベルベットは、天然繊維から機能繊維まで多種類の糸で製織加工ができ、二重織り・袋織りの製織加工にも長けていた。

液晶用テレビ画面製造用のラビングクロスの製造は、家電メーカーや商社より話があり、やれるということで注文を受託していった。元々のベルベット製造技術を生かし、織機の筈(おさ)を改良することにより、巨大な液晶マザーガラスにも対応できるような、大きなラビングクロスを製造できるようになった。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果のあったこととしては、新しい繊維製品を作るためのノウハウが得られたことである。ファッション製品製造の際は感覚的で、アバウト。電子製品は細かい仕様が決められ、精度もずっと細かいものを要求され、それに対応できるようになったことも大きな成果のひとつである。

困難だったのは販売。繊維業界から業界が変わって勝手が違い、電子部品ということで、どこの会社の、どこの部署に売り込みに行けばいいのか、まったくわからなかった。電子部品の際は、その会社のその製品ということで、仕様が決められる。それにしか対応できず、汎用性がない。相手先の製品のため、特許、守秘義務等で縛られ、他に転用も難しい。

業況等について

本業の業況は不調である。国内需要の減少と円高が原因である。

新規参入事業に関しては、現在、売上高は10,000千円(売上高構成比10%)とこちらも業況的に不調である。国内液晶テレビメーカーの生産工場の集約が進み、海外移転も進行中である。海外液晶テレビメーカーの生産工場も集約化され、それに伴い、需要も減少。技術革新の流れも速く、生産は減少傾向である。

今後の展望・見通し

液晶テレビの国内のメーカーは統合方向。韓国、台湾、中国の液晶テレビメーカーも集約方向。それに伴い数量の減少が考えられる。また液晶がLEDに置き換わる流れもあり、減少傾向が予想される。

メリット・デメリット

メリットは、新しい考え方を得られる。他の視点からものを見られるようになり、多角的な発想を得ることができる。新しい分野に製品展開できる等、複数挙げることができる。

デメリットは新分野の商品を製造する際は、なるべく一環工程に関わることが重要。例えば北陸の地場産業のように各企業がそれぞれの工程で部品の製造に関わると、何かトラブルが発生しても、自社のところでない、とお互いに責任の転嫁となり、根本的な原因の究明がなされず、製品の向上が図られない。

異業種参入時のアドバイス

根気良くやるのが大切。芽が出るまでに時間がかかることを覚悟し、それに耐えられるだけの経済的な余裕も必要。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度 越前市新事業チャレンジ支援事業

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

支援をして欲しいと思うが、工業技術開発にはブラックボックスが多く、公開できないものも多い。開発には長い時間がかかり、当社の事業も数年かかっている。単年度だけの支援では足りないものも多い。支援制度がどこも同じパターンであり、手続きも煩雑という印象がある。

会社概要

設立:昭和48年7月

資本金:10,000千円

従業員数:5名

URL: <http://www.minovel.co.jp>